

20190425 2019 年度 第一回区民版子ども・子育て会議

「さあ、計画づくりがはじまるよ〜!!!」

会場：成城ホール CD

申し込み数：60

参加数：54

18:30-

松田（挨拶）今日が初めての方もいるので、後で自己紹介や名刺交換など・・・席順もなく、好きなどころに座ってください。だんだん増えていくのが区民版。

名札に所属と名前を太いペンで書いてください。紐を短めにして見えるようにしてください。

ざーっと全員の所属と名前を言いましょう。

各テーブルごとに所属と名前を言う。

<初参加>受付リストとあわせて再度チェックしてください〜

デンマークやインドで教育関係、今年から日本で教育虐待など発信 ふじた

うんちまん こせき 学び大好き子どもも大人も学びをしていこう

青少年委員フェルナンデス

きれめのない支援課おがわ

さくらのその保育園 おおこうじ

ふかい

上野毛おでかけひろば

ますい 世田谷区

家庭教師 たわてい

児童相談所 斎藤

すぎたみか 幼稚園教諭 大学院で教育学勉強

もちづき

つのだ 多門小 PTA 子ども子育て会議の担当をしていたことあり

しぶた 前回から参加 こどもわかもの部長 児童相談所準備部長

トラストまちづくり かざま

かんぺ 9年ぶりに世田谷区民 外プロ

きれめのない 貧困対策（女性）

ひらまつかずや 経堂でスタイルズ（親子向けトレーニングとヨガ 赤ちゃん抱っこ講座）

トラストまちづくり こばやし

三宿のもり保育園 てらぬま

なかお（子育て応援委員）子育て中でもある
くわのはるみ 2年前に区民に。美術大を昨年卒業 世田谷で活動したい
いけだ 祖師谷保育園内のひろば 祖師谷育ち 子育ても祖師谷で
狛江市プレーワーカー 週1で世田谷に 若者の居場所づくりも
えだよし 特別支援教育に興味あり。大学学生。 特別支援教育に関わったこともあり。
やまだえつこ 長男15歳のときから関わっている
二子玉 まつもと 自然体験の活動 不登校と発達障害の子を中心にしたシステムをつくりたい スタッフも募集中
うちやま 二子玉 小6、小1の子育て中 あずま 3人目は里親になりたい
いわさなおこ 7年前に転入 区外で不登校の親の茶話会 アロマの講座
給田小サポート さとう
世田谷区児童相談所 課長はせがわ
エキサイト（株）むらい We LOVE 赤ちゃんプロジェクト

思いのほかいっぱいになっています。国、自治体版の裏版で区民版。どこにもものっていないオフィシャルでないゲリラ会議。ここで話し合われたことも行政もちょっと参考にしようかなと思って来ています。庶民が手弁当に話せるフラットな場です。それぞれにみえている世田谷を、それぞれの意見を尊重、対立より対話。何か結果をだすことはあまりしない。計画づくりがはじまるので、今起こっていること、5年間でおこっていること、提案、こういうふうになったら、ほんちゃんの会議ではなかなかでないけど、皆さんがみえていることをいろいろ出し合えればと思っています。交流も大歓迎。区民版は懇親会もセットです。懇親会もぜひ来てください。

計画づくりの骨格を知っておきたいので、担当の真鍋さんに解説していただきます。

19:00

真鍋) 子ども育成推進課で計画担当の真鍋です。区民版6年目です。いつもこのぐらい集まって、毎回初めての人もいます。いろんなジャンルで子育て支援に関わっている人がいるんだと毎回驚かせてもらっています。去年も計画づくりがはじまって、皆さんの意見を聞きながら、計画づくりに反映させてきて、今年度は文書化されていく。

(世田谷区からの資料3枚を見ながら紹介)

第4章 6つの項目

平成7年の時点

重点政策は3つ (平成27~36年)の10年計画

1) 妊娠期から切れ目のない支援・虐待防止(行政がタッチしづらい妊娠期)

弱い部分だったことを強めていこう 平成28年から世田谷版ネウボラがはじまっている。妊娠期面接で子育て利用券を渡し、地域の資源を活用しながら一緒に子育てを楽しんでいただく

2) 子育て家庭を支える基盤の整備と質の向上

待機児童の解消 在宅での子育て 虐待の深刻化 第三者のかかわりのない在宅家庭での子育て 育児不安、ストレス 誰にも相談できない 一緒に子育てしてくれる仲間、地域の子育て支援 保育園、おでかけひろばを充実させた5年間

3) 子どもの生きる力の育み

5 地域の4つのプレーパーク、地域のなかで

計画行政で先のことをかかげ、予算をつけていく

計画にかかげることで地域の皆さんが求めていることがはいつてくると

10年で状況が変わる。 貧困家庭が大きな課題になっていった

相対的な貧困。体験やサービスのできない家庭が意外と身近なところにいる。

社会状況の変化をとらえて令和2年スタートの後期計画をつくりたいと思っている

子ども子育て会議で意見を聞きながらとなるが、本当に課題だと思っているよ、という

ことも区民版でだしてもらって、一緒によりよい社会をつくっていききたい

子ども若者部

若者も行政サービスの対象となっていない。ニートやひきこもりが20年前に社会問題となってきた。景気がよくなったらなくなるのかと思ったが、実際には就職率も上がっているが、今でも引きこもり問題はある。当時、社会に適合できなかった人たちが5年、15年たっても同じ状態。昔は29歳だったが、今は39歳。行政としても支援していかないと損失につながる。早い段階で若者を支援。計画の中に若者施策も。若者が力を発揮する地域づくり。生きづらさを抱えた若者の支援。

子ども青少年協議会で議論して提言受けているところ

計画にかかげて実現したもの

希望ヶ丘の青少年交流センターをつくった

ねつせた 若者目線での情報発信

メルクマールせたがや 社会にでられない若者への支援 就労支援にいかない子供たちへの自己認知、社会にでれるように

今日はどこがテーマになるのか、グループにわかれて、課題をだしあって、じっくり話し合う。

松田) さっそく皆で話すタイムになります。A3の紙に、皆が考えていることをポストイットに貼って行って、個人で書いたものをシェアする時間にします。

ポストイットの色は気にしないで。一人何枚かずつ課題や気になっていること、次の5年で解決したいことなど、何枚か書いてみてください。声かけたらグループでシェアしてください。1枚に1項目で書いてください。気になるところから書いてください。

19:20 グループで考えたことをシェアしながら、各テーブルで話してください。シェアの時間は20分ぐらいで。貼りきってから話すように。名札のひもは短く。

19:50 シェアタイム このグループでは、こういうキーワードがでたとまとめて発表してもらおうと思うので、太いペンで色を変えて囲ったり、キーワードをだして行ってください。8つのグループに各7~8人

- 1) 地域とつながるきっかけ 男性の育児参加、産後すぐの方が地域とつながるきっかけ
- 2) 多世代が関わる場がほしい サードプレイス+コミュニケーション
- 3) ハードルをどうするか?
- 4) 保育園の質を選べる目を養う
- 5) 子どもがぼーっとできる時間

- 1) 子ども若者部が困っていること
- 2) 支援が必要な人にサービスや相談がつながっていない
- 3) 教育重視のなか、子どもたちが主体となっているのか? 子どもが選べる多様な放課後の居場所 何もしなくていい場所も必要
- 4) 支援をされた人が支援をする人にまわっていくシステムに
- 5) 子どもたちが気軽に話したり意見を言える場があったらいい
- 6) 8050問題(高齢者80歳、50歳の老老問題) 不登校問題 どうか関わっていくのか?

- 1) サポートに一步踏み出せないシニアの活動支援
- 2) 育児の大切さ
- 3) パパの育児参加(男の産休必須化) 父親教育とセットで
- 4) 妊娠期の過ごし方 孤独な子育てにならないように
- 5) 生きづらさを抱えた若者の声を発信できてない

- 6) 学校外の多様な学び 教育機会確保法 学校だけでないよ
- 7) 子どもの性教育
- 8) 地域力 いろんな問題を解決できるように
 - 1) 食育 孤食、栄養の偏り
 - 2) 地域との連携 学校との連携は難しい 資格が必要？
 - 3) 子どもの支援と親の支援も手厚く パパの役割 ママ友
 - 4) 自分の将来を考えて子どもの主体性にも焦点を
 - 5) 地域との連携 子どもの声がうるさいというシニアにも理解してもらうように
 - 6) 多様性 子ども自身の多様性、その子に合わせた子育てができればいい

- 1) 子どもの関わる大人の再教育 大人にも子育てを
- 2) 時間がない
- 3) 子育て会議に学校の先生にも関わってもらいたい 校長先生の考え方が学校に影響及ぼす
- 4) 孤立している 内向きになっている 最終的には子どもの意見を聞いて、そこから考える
- 5) 親がいろんな大人との人間関係をひろげる 多様な人と付き合う場が必要 (世田谷を元気にする活動)

- 1) 子育てを中心にみた地域 子育て仲間 地域への第一歩 転入しての子育てが多い 新しい地域性が新しい家族に生まれにくい
- 2) 高齢世代への難しさ
- 3) 協働できる社会
- 4) 妊娠期
- 5) 足りない保健師、保育士
- 6) 行政のいろんな機関が連携できてないのでは？
- 7) 児童相談所と子育て支援の現場、保育所、幼稚園、教育の連携を
- 8) ヨーロッパの小さな教育実践を学ぶ 公教育が変わるように
- 9) それぞれの世代で外遊び 路地、商店街、公園での外遊び

- 1) ひとり親家庭への支援
- 2) 夫婦間の DV 問題 家庭の再構築の視点
- 3) 障害のある子どもの居場所、教育の推進、支援
- 4) 多様性、細分化されていくのをどうやって地域と解決できるか？
- 5) 子どもの権利の視点
- 6) お互いに学びあう場

- 1) パパの不参加 存在がみえない 昔ながらの子育て 母が育児専門は苦しい
- 2) 子どもの貧困がみえにくい
- 3) 児童相談所との連携、 対応している子どもの情報がシャットアウト 持続可能な支援といえるのか? 民間が支える部分との連携
- 4) 児童相談所で保護した場合は親も支える必要ある 何に困っているのか親から聞くのも大事
- 5) 桜丘中が話題に 校則、テストのない公立の中学校

20:15 休憩

多様なキーワードがでて、あれもこれもとなったけど、次に掲げたいキーワード一つ A4の紙に大きく書いて、後半は同じキーワードの人と話したいです。書けた人からお茶タイムにします。

20:25 同じテーマで7人ぐらいになったら一つのテーブルに座れます。

折り合いをつけて、どこかのグループにはいってください。

■外遊び

時間、場が足りない

大人の都合での場

外遊びの味を知ってるプロからは、外で子育てすると価値観がみえやすい。

本当のソウルメイトが見つかるのは外遊びから

外遊びから子どもは精神を発散 →情緒の安定

親も子も原点に戻れる場 → 都会の地域でも、まあいいやと言える

■男性の育児参加 内向きの人を外に

お父さんと過ごす時間が短い →社会の問題でもある

父親同士でつながりにくいハードルがあるので、タスクややることがあるとききっかけになる

育休をとったり、積極的に関わるときに他のお父さんがいない

■子どもも一人の人間、子どもが言える、子どもの場づくり、子ども主体、子どもの声 多世代の斜めの関係、子どもが大人が学ぶ

せたこん、いままち、おでかけひろばがあるが、子どもはあきらめがち。

子どものくすぶった思いを聞く場がない。たまり場が昔はいろんなところにあったが、今はない。スペースがない、SNSの普及 たまりばをOKする大人が必要

■サードプレイス 居場所

子どもの多様な居場所 学校でも家庭でもない第三の居場所

大人がいる場所は子どもが安心できない

親としては安全で安心なところに行ってほしい

子どもが安心して安全で居心地いい場所

子どもの足でいけるところに 身近な場所が必要

興味あるわくわくすることがあると行ってみようかなと思う

身近な居場所につなげるひと手間があれば、つながれるのではないか

ネウボラ（妊娠期面接）を地域のサービスにつなげる→おでかけひろばを紹介しているので、

子どもたちにも居場所をつなげてもらうと行けるのではないか？

居場所はたくさんあるが、知らない。知られてないところもあるので見学ツアーあってもいいかな。

外遊びやひろばの場所、プレーパークがない地域にもプレパをつくる。

■切れ目のない支援

切れ目のない支援を妊娠の前からはじめたらどうか？高校生や大学生に地域を知ってもら

う。中学生や高校生にも赤ちゃんを知ってもらう場を

自分の子供が初めて抱く赤ちゃんにならないように

■虐待

教育虐待

人権（子どもの権利）

子どもの視点にたって、大人自身も愛されていない

意識の部分を考える必要あり

■地域の連携 子育てしやすい地域づくり

支援の輪をいかにつなげていくか

専門的なスキルも必要だが、専門スキルなくても支援の方法知っている人を増やす、仕組みをつくる

ファミサポなどあるが、ちょっと手伝ってと言える人を増やすことも必要 現代版ご近所さんを増やす

子育てしやすい地域づくり → 赤ちゃんにも優しい地域に WE LOVE 赤ちゃんのステッカーを身近なところに貼って意思表示（スマホに貼ったり）6月から世田谷にもひろめたい（エキサイト）

■ パパ・ママ支援

お母さんの負担が多い、パパの育児参加が少ない

パパが手伝うと邪見にされる。認識が違う。入りづらいところもあるかも

パパとママの家庭・教育環境がちがう。そもそも合わない

居場所や児童館で他人を傷つけるのが怖くて、外に出さない人もいる→人とのかかわりが少ない子ども

迷惑をかけちゃいけない意識を変える必要あり

おひとりさま DAY も企画あり

強引に誘う人がいるといい

しろた部長からひとこと。

本日はありがとうございました。これからの子ども計画を策定、児童相談所もくるのでこどもにやさしい、子どもがわくわくいきいき生活できるのを実現できるようにやっていきたい、皆様の意見もお聞きして反映できるのが地域版のいいところ。今後ともよろしくお願ひします。

まつだ) 8月は子どもバージョンでやろうと考えているので、参加者への声かけもよろしくお願ひします。